

平成18年12月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)



上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社

(URL <http://www.mcd-holdings.co.jp/>)

平成18年 5月12日
(コード番号:2702 JQ)

代表者 役職名 代表取締役会長兼社長 氏名 原田 泳幸
 問合せ責任者 役職名 上席執行役員最高財務責任者 氏名 大岡 吉一郎 TEL:(03)6911-6061

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 :有
 (内容) 法人税等の計上基準については簡便な方法を採用しています。
 ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 :無
 ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 :無

2. 平成18年12月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年1月1日～平成18年3月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切捨

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期第1四半期	86,036	4.7	2,411	△ 19.9	2,096	△ 29.7
17年12月期第1四半期	82,144	8.8	3,011	78.5	2,984	74.4
(参考) 17年12月期	325,655	5.7	3,210	△55.7	2,859	△ 60.7

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年12月期第1四半期	22	△ 98.8	0	17	—	—
17年12月期第1四半期	1,923	243.2	14	47	—	—
(参考) 17年12月期	60	△98.3	0	46	—	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループの基幹ビジネスであるハンバーガーレストラン事業では、前連結会計年度より、従来からもつ強みである「バリュー」「サービス」「ファミリー」に重点を置いた戦略を策定実行してまいりました。その結果、グローバルなマクドナルドの“強み”を基盤に、お客様の期待を超える最高のバリューを提供することにフォーカスした数々の施策は、来店客数を前年比+12.3%と大幅に増やし、この戦略の第一の目的であったマーケットシェアの回復を果たしました。

当連結会計年度は、「バリュー」「サービス」「ファミリー」に重点を置いた戦略に加えて「戦略的な商品開発」「戦略的な店舗開発」「店舗運営の強化」「より経済的・効率的な事業展開」を進めてまいります。

当第1四半期においては、「戦略的な商品開発」のメニュー作りのポリシー、“おいしい”“マクドナルドらしい”“日本人の嗜好にあっている”を踏まえて開発した「えびフィレオ」が大好評を博し、早々にレギュラーメニューとして再登場させました。当連結会計年度は、引き続きこのような新商品を次々登場させてまいります。

店舗展開につきましては、新規出店数はトラディショナル店舗(標準店舗)10店舗、閉店数はトラディショナル店舗5店舗及びサテライト店舗(メニュー限定小型店舗)13店舗の合計18店舗となり、当第1四半期末の店舗数は3,794店舗(前期末比8店舗純減)となりました。また、119店舗で改装を実施いたしました。

以上のような活動の結果、当第1四半期において、既存店客数の前年比+6.9%増加と同時に、既存店売上についても前年比+0.8%の増加を達成しております。また、当第1四半期のシステムワイドセールス(直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高)は、1,075億61百万円(前年同四半期比2.3%増)となり、連結売上高は860億36百万円(前年同四半期比4.7%増)、連結経常利益は20億96百万円(前年同四半期比29.7%減)となりました。

尚、当連結会計年度より減損会計を導入したことにより、20億86百万円を特別損失に計上しております。

(参考情報)

この参考情報は、以下の理由により開示するものであります。

当社連結子会社の日本マクドナルド株式会社では、平成17年8月から1分単位で勤務時間を計算する新管理方式を導入しました。新勤務時間管理方式の導入等に伴う影響は、平成17年9月30日に発表した「平成17年12月期中間決算短信(連結)」の一部修正にて既に開示しております。

市場に対する情報提供の観点から、新勤務時間管理方式の導入等に伴う影響を便宜的に見積もり、反映した平成17年12月期第1四半期の財政状態及び経営成績を開示することが有益であると判断したためであります。

従いまして、下記17年12月期第1四半期の数値は、平成17年12月期第1四半期の経営成績に新勤務時間管理方式の導入等に伴う影響を反映したものであります。

(注)金額は百万円未満を切捨

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期第1四半期	86,036	4.7	2,411	△ 10.0	2,096	△ 21.0
17年12月期第1四半期	82,144	8.8	2,679	58.9	2,652	55.1

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年12月期第1四半期	22	△ 97.5	0	17	—	—
17年12月期第1四半期	918	63.9	6	91	—	—

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注)金額は百万円未満を切捨

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年12月期第1四半期	183,164	128,842	70.3	969	03
17年12月期第1四半期	191,477	137,792	72.0	1,036	34
(参考)17年12月期	190,370	135,905	71.4	1,022	15

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注)金額は百万円未満を切捨

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年12月期第1四半期	15	△ 3,205	2,360	10,421
17年12月期第1四半期	3,487	△ 2,147	2,667	12,363
(参考)17年12月期	15,304	△ 5,783	△ 6,657	11,251

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の総資産は、減損損失による有形固定資産の減少20億86百万円、投資有価証券含み益の減少11億18百万円、敷金・保証金の回収等による減少9億86百万円や土地再評価差額金に係る繰延税金資産の取崩し19億25百万円などにより、前連結会計年度と比べ72億6百万円減少の1,831億64百万円となりました。

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、104億21百万円(前連結会計年度比7.4%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は15百万円(前年同四半期比99.5%減)となりました。これは、マクドナルド・コーポレーションに対する平成17年下半期のロイヤルティの支払及び新勤務時間管理方式の導入に伴う未払賃金の支払等を行ったことにより、その他の負債の減少額が63億87百万円生じたためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は32億5百万円(前年同四半期比49.3%増)となりました。これは、主に新店及び改装に伴う店舗設備等の取得による支出37億12百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は23億60百万円(前年同四半期比11.5%減)となりました。これは、主に短期借入金による純増額が60億円あった一方、配当金の支払による支出36億39百万円あったためであります。

(参考情報)

下記17年12月期第1四半期の数値は、平成17年12月期第1四半期の財政状態に新勤務時間管理方式の導入等に伴う影響を反映したものであります。また、連結キャッシュ・フローの状況に変更はありません。

(注)金額は百万円未満を切捨

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年12月期第1四半期	183,164	128,842	70.3	969	03
17年12月期第1四半期	191,477	136,787	71.4	1,440	11

【参考】平成18年12月期の連結業績予想(平成18年1月1日～平成18年12月31日)

平成18年2月10日の平成17年12月期決算発表時に公表いたしました中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

<添付資料>

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第1四半期 (平成18年3月31日)		前連結会計年度 (平成17年12月31日)		増減 (△印減)		前第1四半期 (平成17年3月31日)	
		金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	増減率 %	金額	構成比 %
(資産の部)									
I 流動資産									
1. 現金及び預金		10,421		11,251		△ 830	△ 7.4	12,363	
2. 売掛金		7,721		8,403		△ 681	△ 8.1	7,492	
3. たな卸資産		2,709		2,858		△ 148	△ 5.2	2,609	
4. 繰延税金資産		1,148		1,148		—	0.0	788	
5. その他		4,867		4,983		△ 116	△ 2.3	4,811	
6. 貸倒引当金		△ 80		△ 80		—	0.0	△ 55	
流動資産合計		26,788	14.6	28,564	15.0	△ 1,776	△ 6.2	28,010	14.6
II 固定資産									
1. 有形固定資産									
(1) 建物及び構築物		37,885		38,940		△ 1,055	△ 2.7	37,726	
(2) 機械及び装置		7,979		8,589		△ 610	△ 7.1	9,047	
(3) 工具器具及び備品		4,284		4,597		△ 312	△ 6.8	5,347	
(4) 土地		16,950		16,820		129	0.8	16,820	
(5) 建設仮勘定		54		61		△ 6	△ 10.9	152	
有形固定資産合計		67,153	36.7	69,009	36.3	△ 1,855	△ 2.7	69,094	36.1
2. 無形固定資産									
(1) 営業権		1,322		1,327		△ 4	△ 0.4	1,077	
(2) その他		3,967		3,993		△ 26	△ 0.7	3,834	
無形固定資産合計		5,290	2.9	5,321	2.8	△ 31	△ 0.6	4,911	2.6
3. 投資その他の資産									
(1) 投資有価証券		5,790		6,908		△ 1,118	△ 16.2	7,150	
(2) 長期貸付金		62		68		△ 6	△ 8.9	94	
(3) 繰延税金資産		4,300		3,615		685	18.9	4,006	
(4) 再評価に係る繰延税金資産		—		1,925		△ 1,925	△ 100.0	1,925	
(5) 敷金・保証金		68,911		69,898		△ 986	△ 1.4	71,462	
(6) その他		6,005		6,131		△ 126	△ 2.1	5,978	
(7) 貸倒引当金		△ 1,139		△ 1,074		△ 65	6.1	△ 1,157	
投資その他の資産合計		83,931	45.8	87,474	45.9	△ 3,543	△ 4.1	89,460	46.7
固定資産合計		156,375	85.4	161,805	85.0	△ 5,430	△ 3.4	163,466	85.4
資産合計		183,164	100.0	190,370	100.0	△ 7,206	△ 3.8	191,477	100.0

(注) 増減は当第1四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

(単位:百万円)

科目	期別	当第1四半期 (平成18年3月31日)		前連結会計年度 (平成17年12月31日)		増減 (△印減)		前第1四半期 (平成17年3月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)			%		%		%		%
I 流動負債									
1.	支払手形及び買掛金	15,639		16,953		△ 1,313	△ 7.7	15,206	
2.	短期借入金	9,500		3,500		6,000	171.4	12,500	
3.	未払金	8,375		14,760		△ 6,385	△ 43.3	7,559	
4.	未払費用	8,032		8,164		△ 132	△ 1.6	7,074	
5.	未払法人税等	318		185		133	71.8	1,517	
6.	賞与引当金	3,279		1,143		2,135	186.7	3,021	
7.	その他	5,462		6,733		△ 1,271	△ 18.9	4,047	
	流動負債合計	50,607	27.6	51,441	27.0	△ 833	△ 1.6	50,927	26.6
II 固定負債									
1.	長期借入金	500		500		—	0.0	500	
2.	退職給付引当金	1,377		1,347		30	2.3	943	
3.	役員退職慰労引当金	56		50		6	13.3	107	
4.	預り保証金	1,131		1,126		4	0.4	1,206	
5.	再評価に係る繰延税金負債	508		—		508	—	—	
6.	その他	140		—		140	—	—	
	固定負債合計	3,714	2.1	3,023	1.6	690	22.8	2,757	1.4
	負債合計	54,322	29.7	54,464	28.6	△ 142	△ 0.3	53,685	28.0
(資本の部)									
I 資本金		24,113	13.2	24,113	12.7	—	0.0	24,113	12.6
II 資本剰余金		42,124	23.0	42,124	22.1	—	0.0	42,124	22.0
III 利益剰余金		64,866	35.4	68,832	36.2	△ 3,966	△ 5.8	70,695	36.9
IV 土地再評価差額金		△ 5,240	△ 2.9	△ 2,806	△ 1.5	△ 2,433	86.7	△ 2,806	△ 1.4
V その他有価証券評価差額金		2,978	1.6	3,641	1.9	△ 663	△ 18.2	3,665	1.9
VI 自己株式		△ 0	△ 0.0	△ 0	△ 0.0	—	0.0	△ 0	△ 0.0
	資本合計	128,842	70.3	135,905	71.4	△ 7,063	△ 5.2	137,792	72.0
	負債及び資本合計	183,164	100.0	190,370	100.0	△ 7,206	△ 3.8	191,477	100.0

(注) 増減は当第1四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

<添付資料>

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第1四半期 (自平成18年1月1日 至平成18年3月31日)		前第1四半期 (自平成17年1月1日 至平成17年3月31日)		増減 (△印減)		前連結会計期間 (自平成17年1月1日 至平成17年12月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
I 売上高		86,036	100.0	82,144	100.0	3,892	4.7	325,655	100.0
II 売上原価		74,871	87.0	69,360	84.4	5,510	7.9	288,362	88.5
売上総利益		11,165	13.0	12,784	15.6	△ 1,618	△ 12.7	37,292	11.5
III 販売費及び一般管理費		8,754	10.2	9,772	11.9	△ 1,018	△ 10.4	34,082	10.5
営業利益		2,411	2.8	3,011	3.7	△ 600	△ 19.9	3,210	1.0
IV 営業外収益		249	0.3	266	0.3	△ 17	△ 6.5	1,398	0.4
V 営業外費用		563	0.7	293	0.4	269	91.7	1,748	0.5
経常利益		2,096	2.4	2,984	3.6	△ 887	△ 29.7	2,859	0.9
VI 特別利益		128	0.1	284	0.4	△ 156	△ 54.8	298	0.1
VII 特別損失		2,096	2.4	10	0.0	2,085	—	3,014	1.0
税金等調整前四半期 (当期)純利益		128	0.1	3,258	4.0	△ 3,129	△ 96.0	143	0.0
法人税等		106	0.1	1,334	1.7	△ 1,228	△ 92.1	82	0.0
四半期(当期)純利益		22	0.0	1,923	2.3	△ 1,900	△ 98.8	60	0.0

(注) 増減は当第1四半期と前第1四半期との比較で表示しております。

<添付資料>

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計期間
		(自 平成18年1月1日 至 平成18年3月31日)	(自 平成17年1月1日 至 平成17年3月31日)	(自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		128	3,258	143
減価償却費		2,176	2,169	8,742
減損損失		2,086	-	-
引当金の増減額(減少:△)		2,243	1,493	△ 70
未回収商品券収入		△ 29	△ 67	△ 270
受取利息及び配当金		△ 19	△ 17	△ 182
支払利息		3	5	19
持分法による投資損益		△ 3	△ 3	△ 7
固定資産除却損		384	209	1,648
売掛金の増減額(増加:△)		681	245	△ 640
たな卸資産の増減額(増加:△)		148	111	△ 136
フランチャイズ店舗の買取に係る 営業権の増減額(増加:△)		△ 5	△ 13	△ 263
その他の資産の増減額(増加:△)		294	741	688
買掛金の増減額(減少:△)		67	1,005	1,219
支払手形の増減額(減少:△)		△ 1,381	△ 1,924	△ 391
未払費用の増減額(減少:△)		△ 134	430	1,514
その他の負債の増減額(減少:△)		△ 6,387	△ 4,071	3,304
その他		-	△ 3	10
小計		253	3,566	15,326
利息及び配当金の受取額		1	19	138
利息の支払額		△ 1	△ 1	△ 9
法人税等の支払額		△ 237	△ 97	△ 150
営業活動によるキャッシュ・フロー		15	3,487	15,304

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計期間
		(自 平成18年1月1日 至 平成18年3月31日)	(自 平成17年1月1日 至 平成17年3月31日)	(自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
店舗設備等の取得による支出		△ 3,712	△ 2,614	△ 7,255
店舗設備等の売却による収入		233	149	725
敷金・保証金の差入れによる支出		△ 278	△ 206	△ 1,761
敷金・保証金の回収による収入		1,205	932	3,853
貸付金の回収による収入		6	3	35
情報システムの開発による支出		△ 664	△ 411	△ 1,315
その他		4	△ 0	△ 65
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,205	△ 2,147	△ 5,783
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入れによる純増減額		6,000	7,500	△ 1,500
長期借入金の返済による支出		—	△ 1,250	△ 1,250
配当金の支払による支出		△ 3,639	△ 3,582	△ 3,907
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,360	2,667	△ 6,657
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 0	0	32
V 現金及び現金同等物の増加額(減少額:△)		△ 830	4,007	2,895
VI 現金及び現金同等物の期首残高		11,251	8,355	8,355
VII 現金及び現金同等物の期末残高		10,421	12,363	11,251